



NOMURA

インベスター・デー2025

グループ連携を通じたバンキング機能の 発揮で持続的な成長を追求

2025年5月30日

野村ホールディングス株式会社
バンキング部門長
岡田 伸一

金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する

We aspire to create a better world by harnessing the power of financial markets

銀行ビジネスを取り巻く環境

国内金利・日経平均株価の推移¹



マーケット環境

- 政策金利の引上げ
- 世界的な株式相場の活況と足元ボラタイルなマーケット状況

規制・当局動向

- バーゼル規制(2025年3月バーゼルIII最終化適用)
- 「資産運用立国」に向けた取組み

社会情勢

- 資産運用ニーズの高まり
- 大相続時代への突入

銀行ビジネスを取り巻く環境は概ね追い風であり、今後ビジネスの拡大を図るタイミングにおいては、金利変動への対応やガバナンスの高度化が求められる

バンキング部門設立の意義・目的

意義・目的

- ・ 昨今のビジネス環境変化による、グループにとってのバンキング機能の重要性の高まり
- ・ 2030年の経営ビジョン実現に向けた戦略 ~ 第4のビジネスの柱としてのバンキングの強化
- ・ 「グループ内連携の強化」および「自立した銀行として成長」するための経営体制の強化とビジネス拡大

バンキング機能に求められる役割の変化

従来

- ・ 野村グループおよびその先のお客様に必要とされるビジネスを段階的に拡充
- ・ 少量多品種で「ユニークかつ競争力のある」プロダクトサービスの提供

今後

- ・ 組織体制およびガバナンスの強化
- ・ グループ内連携による既存サービスの強化・拡充
- ・ 第4のビジネスの柱としてグループの安定収益拡大への貢献
- ・ (中長期)プラットフォームを活用したグループ外への展開

グループを取り巻くビジネス環境の変化

金融機関に求められる役割
貯蓄から資産形成へ

顧客ニーズ
資産運用ニーズ、相続ニーズの高まり

国の政策
資産運用立国の実現

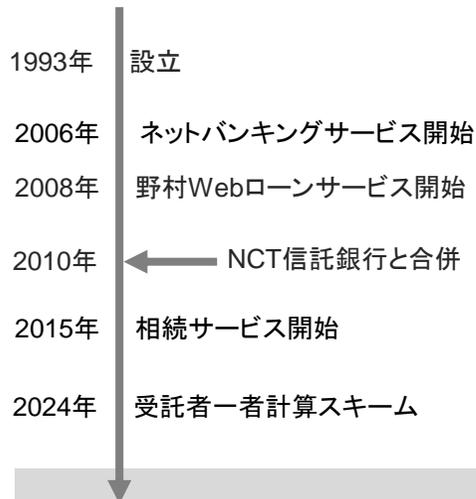
マーケット・社会環境

金利上昇 インフレ 大相続時代

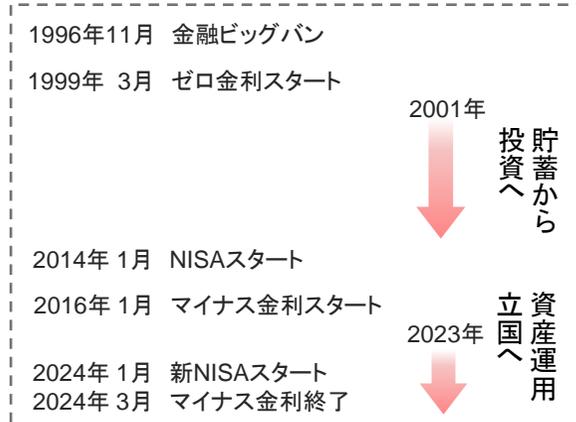
バンキング部門の紹介

NTB・NBLのあゆみと概要

野村信託銀行(NTB)



<日本の金融業界の主な出来事>



ノムラ・バンク・ルクセンブルク(NBL)



2025年4月バンキング部門新設

野村信託銀行(NTB)の概要¹

- 従業員数: 600名
- 代表者: 代表取締役社長 岡田 伸一
- 貸付金残高: 1.04兆円
- 投資信託残高: 40.5兆円



<サービスラインナップ>

預金、外貨預金、有価証券担保ローン、遺言代用信託(ラップ信託)、相続サービス、信託サービス、日本籍投資信託受託業務

ノムラ・バンク・ルクセンブルク(NBL)の概要¹

- 従業員数: 323名
- 代表者: 代表執行役社長 今西 勝也
- 預金残高: \$4.8billion
- 管理資産残高: \$56.6billion



<サービスラインナップ>

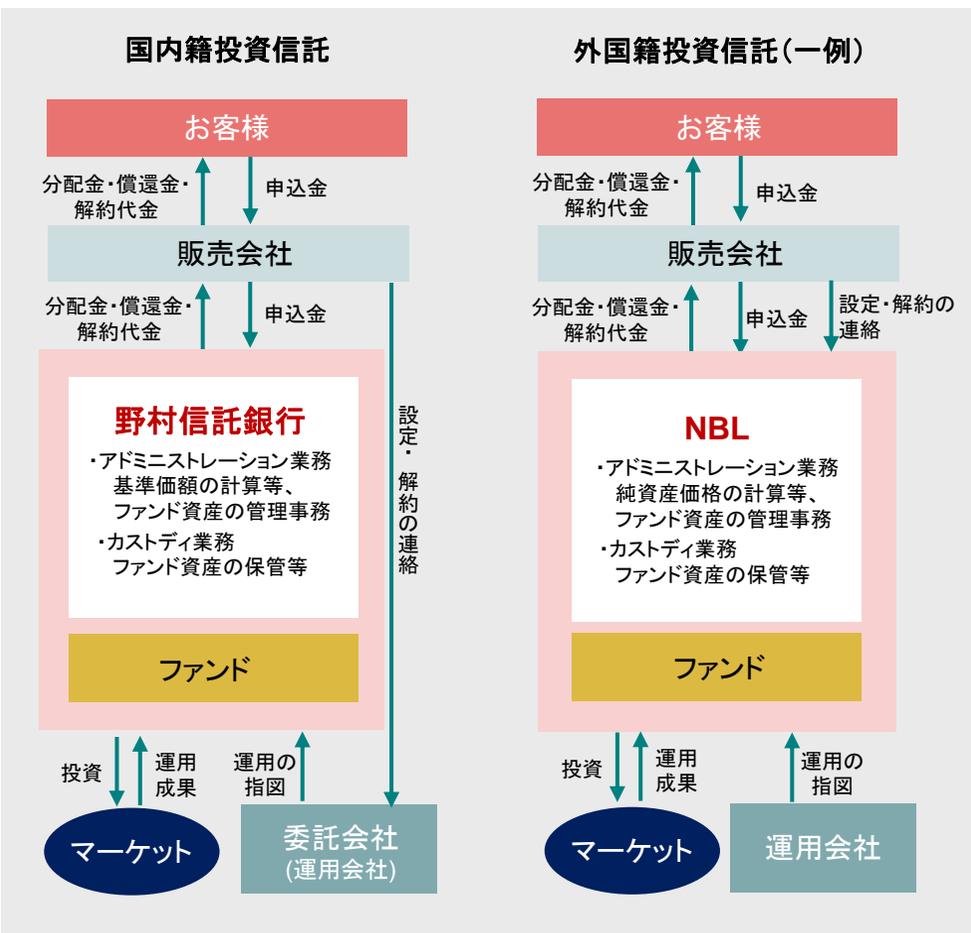
預金、外国籍投資信託の受託、決済、カスタディサービス、ファンドアドミニストレーションサービス

1. 従業員数および残高は2025年3月31日現在

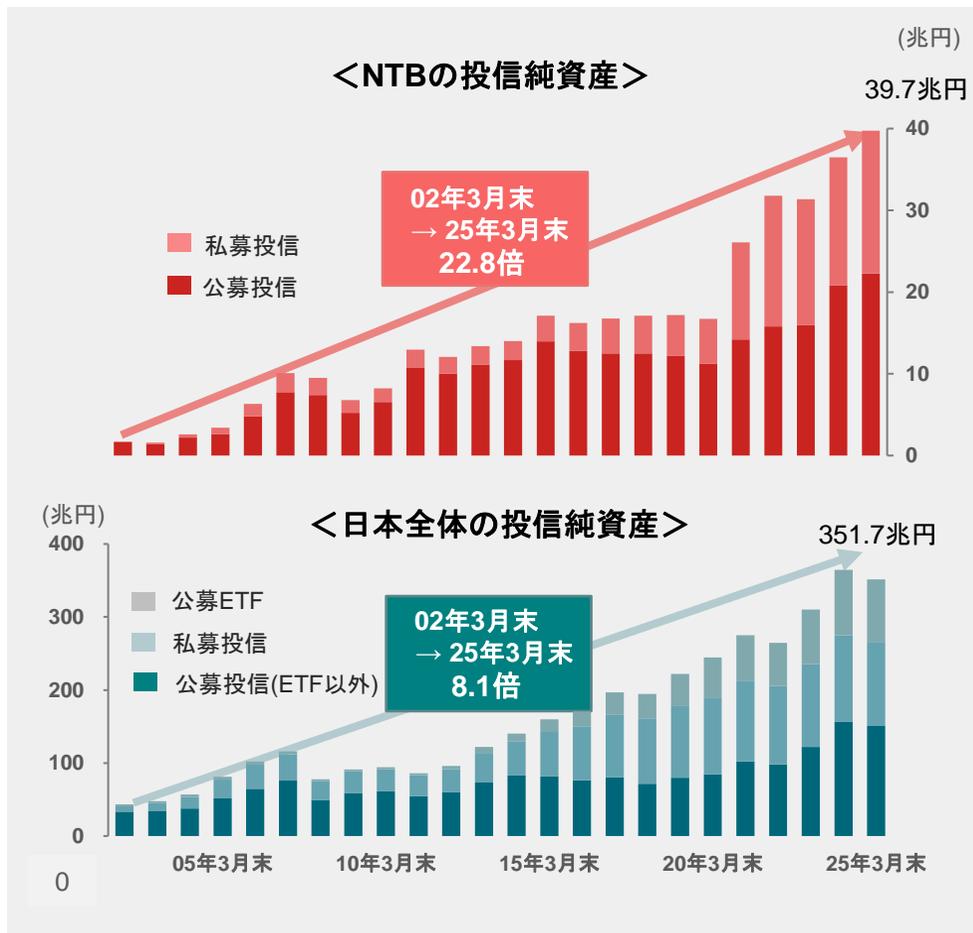
バンキング部門の紹介

投信業務における野村信託銀行(NTB)とノムラ・バンク・ルクセンブルク(NBL)の役割

(ご参考) 投信業務におけるNTBとNBLの役割

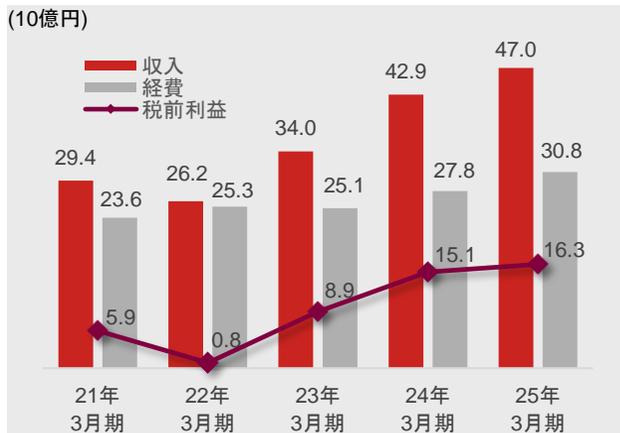


(ご参考) 日本の投信純資産の推移(2002年3月末～2025年3月末)



バンキング部門のビジネス展開 2025年3月期の実績

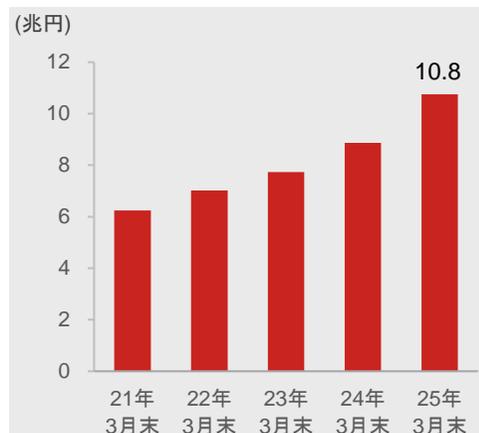
バンキング部門の収益、経費、税前利益



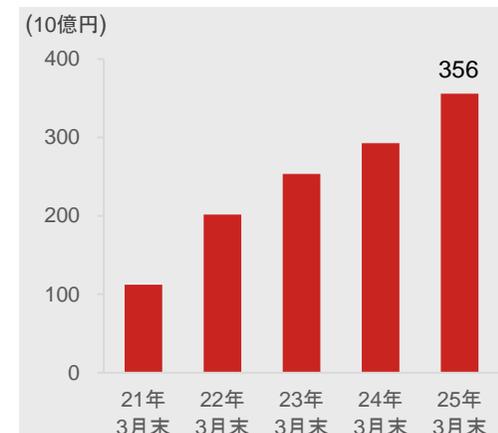
2025年3月期の実績

収益: 470億円
(前年比+41億円)
経費: 308億円
(同+30億円)
税前利益: 163億円
(同+12億円)

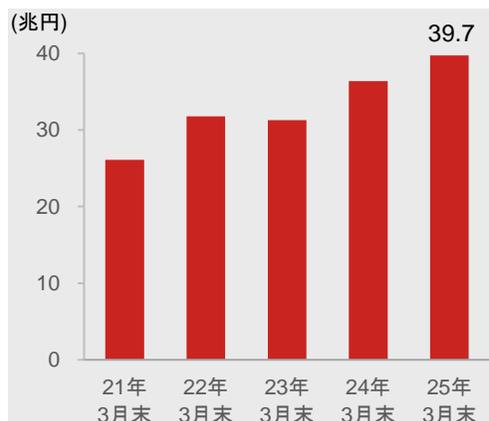
信託財産残高(除く投信) (NTB)



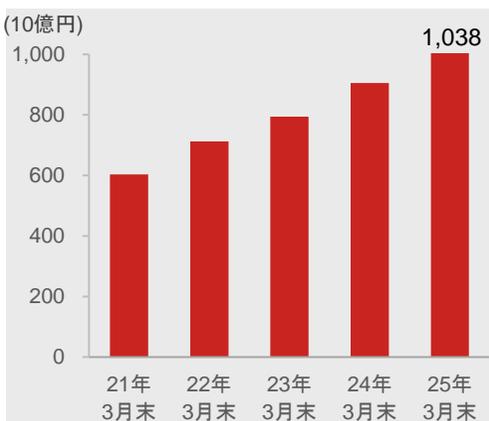
ラップ信託残高 (NTB)



投信受託残高 (NTB)



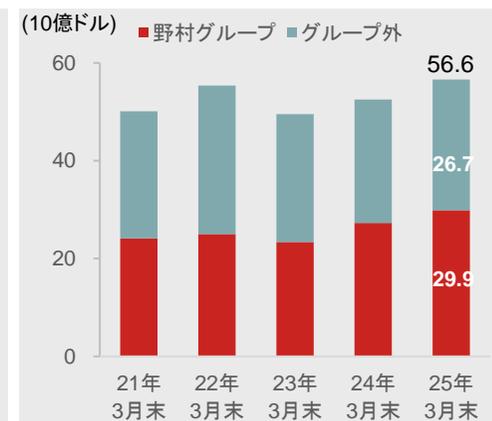
ローン残高 (NTB)



遺言信託件数 (NTB)



管理資産残高 (NBL)



1. 当社シェアは、信託協会員(信託銀行等、信託協会に加盟している会員)が保管している執行付きの遺言書の合計件数に対する当社の保管件数の割合。2024年の情報は2024年9月末当時の情報を基に作成

バンキング部門の特長、強み

野村信託銀行 (NTB)

オリジナルの強み・特長

有価証券取扱いで豊富なノウハウ
価値が日々変動する
担保資産で高い管理能力

エッジの効いたプロダクト・サービス

野村Webローンやラップ信託、
直接受託スキームや
一者計算スキーム等

投信受託で高い競争力

高い専門性や高品質なサービスを
背景に業界三位の受託実績

グループ連携で発揮される 強み・特長

優良な顧客基盤へのアクセス
野村証券の富裕層を中心とした
優良な顧客基盤へのアクセスが可能

自前の店舗を持たない 軽量型経営

野村証券を銀行代理店、信託契約
代理店とすることで実現

グループに日本最大級の運用会社

野村アセットマネジメントと協働し多様
化する投資ニーズに対応(戦略的には
他運用会社からの受託拡大にも注力)

NOMURAのブランドカ



銀行代理店、信託契約代理店

野村証券(ウェルス・マネジメント部門)

顧客資産残高¹
144兆円

残り顧客口座数¹
594.9万口座

全国展開の店舗網²
104店

1. 顧客資産残高と口座数は2025年4月末時点
2. 2025年4月1日現在

3. 管理資産残高 : 2025年3月末現在

ノムラ・バンク・ルクセンブルク (NBL)

オリジナルの強み・特長

難易度の高いアセットの
取扱いで豊富な実績
プライベートエクイティや不動産
などのプライベートアセットの
取扱いで豊富な実績

グループ連携で発揮される 強み・特長

連携による多様なソリューション
NTBからは国内籍投資信託、
NBLからは外国籍投資信託の受
託を通じて多様なニーズに対応
グローバルマーケットや海外富裕
層ビジネスなど部門外との連携に
も更なる可能性

プライベートアセット公募投資信託受託実績(2024年)



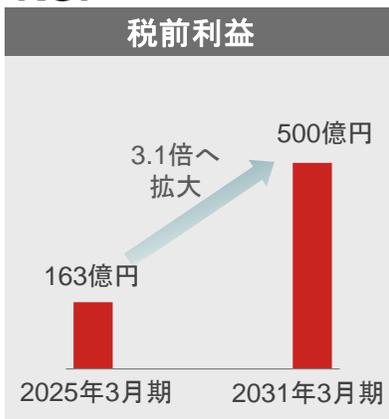
ファンド名	設定	管理資産残高 ³ (USDm)
ノムラ・ファンド・セレクトブラックストーン・プライベート・エクイティ・ストラテジーズ投信 米ドル建て	2024/2	1,603
ノムラ・ファンド・セレクトゴールドマン・サックス・プライベート・クレジット戦略投信 米ドル建て	2024/11	894

2030年に向けた成長戦略とKGI、KPI

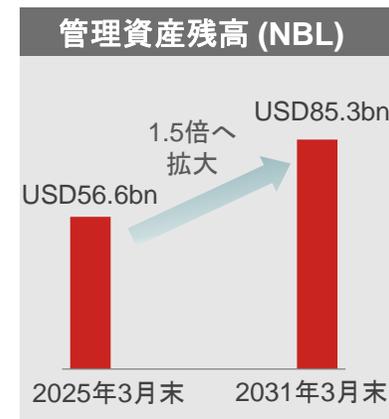
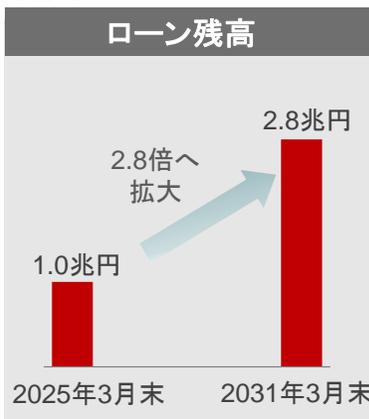
野村グループの軸足である「金融資本市場に隣接するエリア」で適切なリスクを戦略的に取りながらビジネス拡大を図る



KGI



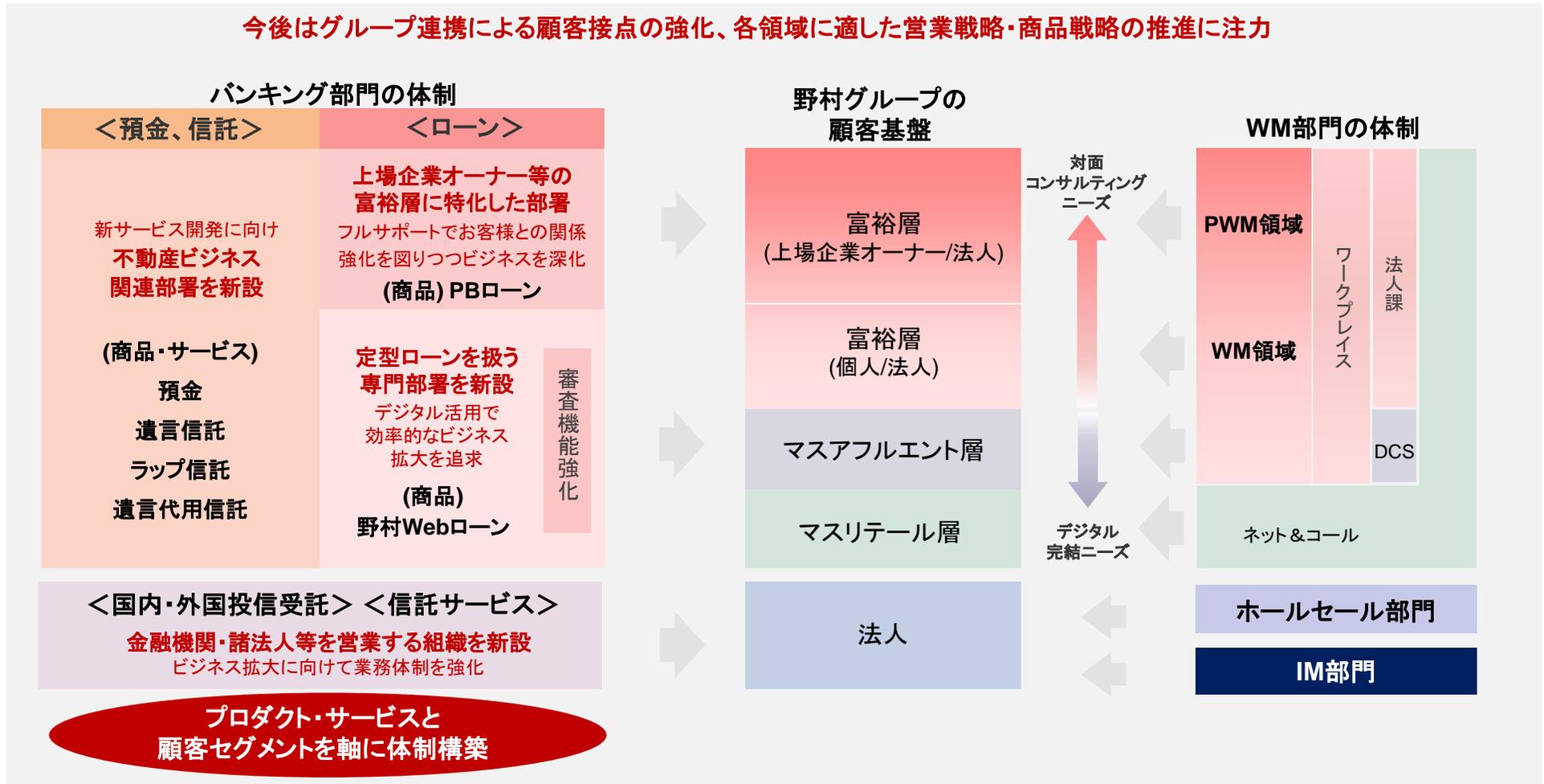
KPI



2030年に向けた成長戦略: ① 顧客接点

- ウェルス・マネジメント(WM)部門の顧客層区分、およびホールセール(WS)部門、インベストメント・マネジメント(IM)部門に対応するかたちでバンキング部門の製品・サービスとフロント組織を再編
- ローン審査の機能・組織を改善、スピードアップを図りつつ、全社的な管理体制も強化
- 新サービス開発で顧客接点を増やすための不動産ビジネス関連部署や定型ローンの拡大をデジタル活用で追求する部署を新設

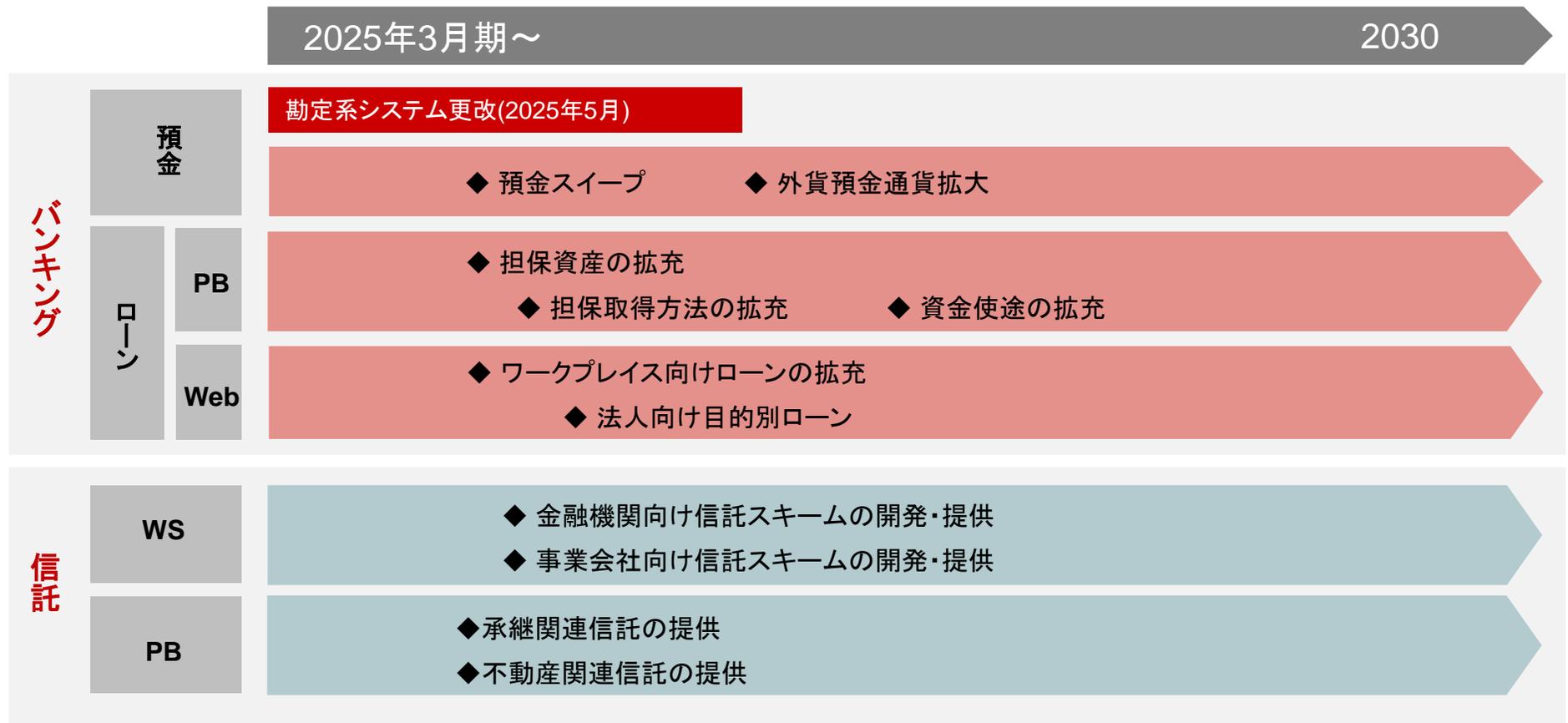
今後はグループ連携による顧客接点の強化、各領域に適した営業戦略・商品戦略の推進に注力



2030年に向けた成長戦略: ② プロダクト・サービス

- 野村グループの軸足である「金融資本市場に隣接するエリア」での新プロダクト・サービスの開発及び既存商品・サービスの拡充を推進
- 顧客ニーズを起点とする「カスタマー・オリエンテッド」を基本理念として開発に取り組む

プロダクト・サービス導入ロードマップ



2030年に向けた成長戦略: ② プロダクト・サービスの取扱例

野村Webローンのご紹介

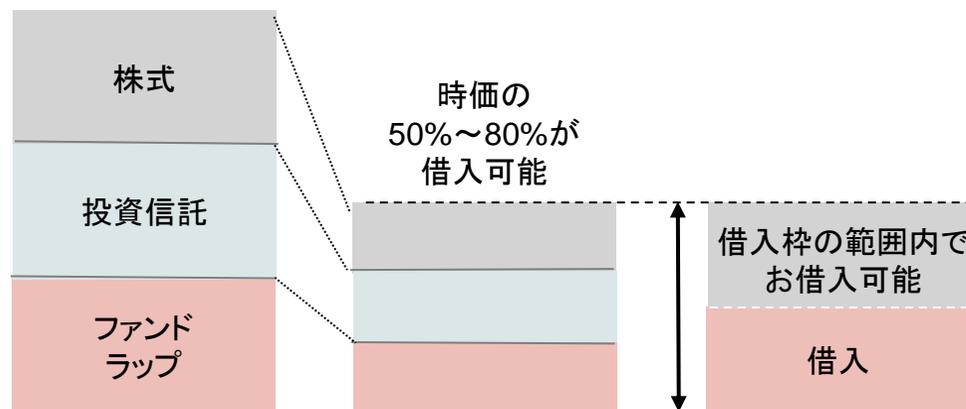
金利

年**1.90%**

(2025年4月1日現在、変動金利)

お借入は**10万円～5億円※**まで

野村証券にお預け頂いている有価証券等を担保とするローンです。
有価証券等を証券口座で保有したまま、資金をご準備いただけます。
株主優待や配当金もそのままお受け取りいただけます。



■ご注意事項

※担保となる有価証券の種類や銘柄によっては、お借入極度額の上限が5000万円となります。50万円以上5億円以下の範囲内でお借入極度額(以下「極度額」といいます)をご指定いただけます。

極度額は担保有価証券の時価の変動等により、お客様の設定された額を上限として日々変動します。

● 野村信託銀行の判断で個別銘柄について担保不適格とする場合があります。個別銘柄の担保適否につきましては、野村証券のお取引店又はバンキングサービスサポートダイヤルにお問い合わせください。

● 野村Webローンは、以下の4つの用途については、ご利用いただくことはできません。

①事業性資金(独立・新規開業資金や運転資金、設備資金等を指し、個人が事業として行う場合の賃貸用不動産の取得等にかかる資金も含まれます。) ②野村証券取扱いの募集・売出し、または野村証券が引受後6か月以内に販売する株式・債券等の購入資金 ③野村証券取扱いの野村SMA・野村SMA信託・野村ファンドラップ・ラップ信託の契約資金 ④野村証券取扱いの保険商品の契約資金

● ご契約にあたっては野村信託銀行所定の審査があり、お借入れいただけない場合があります。

● 「野村Webローン」の詳細は商品概要説明書にてご確認ください。商品概要説明書は野村証券ホームページでご確認いただくか、野村証券の本・支店にご用意しています。

● 「野村のラップ口座(野村ファンドラップ、野村SMA(エクゼクティブ・ラップ))」を野村Webローンの担保とする場合のお取扱いにつきましては、インターネットバンキングの利用画面で「《野村Webローン》野村ファンドラップ担保特約」および「野村Webローン『野村のラップ口座』担保のお取扱い」をご覧ください。

● 「野村のラップ口座」の担保設定はインターネットバンキングの利用画面よりお申込みいただけます。

● 「野村のラップ口座」の担保設定の手続きには、野村信託銀行所定の日数がかかります。

ご利用のお手続きやご返済

お手続きは**オンライン**で完結。

定期的な元本の返済日はなく、ご返済はインターネットバンキングの利用画面にて1円から随時可能です。

幅広いお客様がご利用可能

ご利用年齢は満18歳以上 **80** 歳未満。

勤続年数やご年収などの条件はございません。保証人も不要です。

以下の条件をすべて満たす個人のお客様

- 日本国内居住であること
- お申込時に満18歳以上80歳未満であること
- 野村証券に保護預り口座を開設し、野村証券のオンラインサービスを契約していること
- 野村信託銀行に普通預金(銀行代理店用)口座を開設していること
- 野村信託銀行にメールアドレスが登録済みであること
- 野村証券で信用取引口座、ノムラFX(店頭外国為替証拠金取引)口座が未開設であること
- 野村証券で先物・オプション取引口座が未開設であること
- 野村証券が取扱う提携証券担保ローンが未契約であること
- 野村Webローンが未契約であること
- その他野村信託銀行所定の基準を満たすこと

2030年に向けた成長戦略: ② プロダクト・サービスの取扱い

相続サービスのご紹介

野村の遺言信託

遺言書の作成のご相談から、保管、遺言の執行までを幅広くサポート



【遺言信託の報酬体系】

(2025年4月1日現在)

報酬内容		【0型】	【100型】
契約時手数料		無料	1,100,000円
遺言執行報酬	基本報酬	1,650,000円	550,000円
	財産比例報酬	右記の方法にて計算	
	報酬上限	6,600,000円	4,400,000円
遺言書保管料		無料	
遺言書変更手数料		1回あたり55,000円	

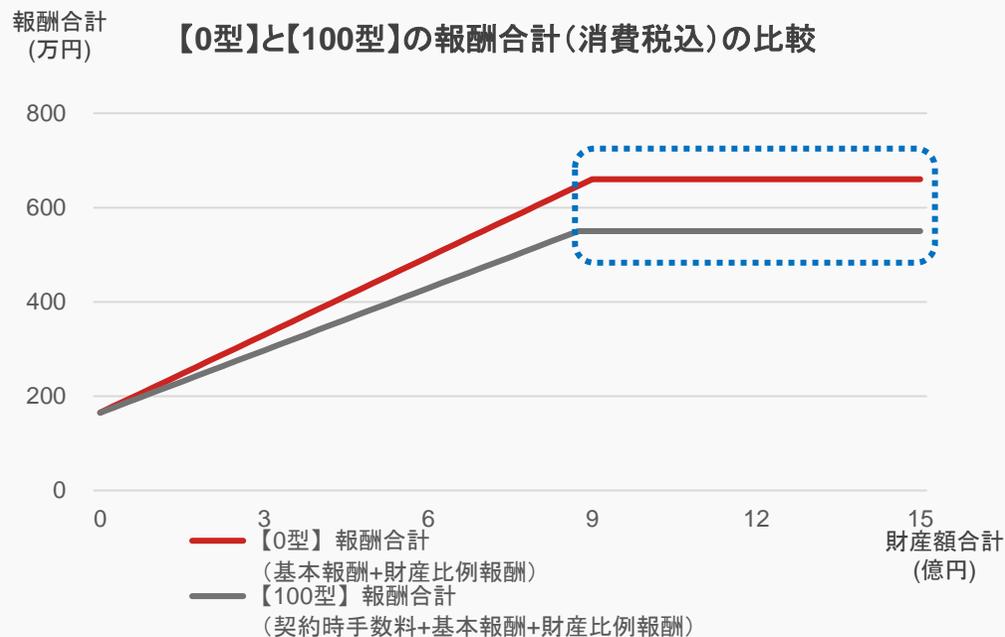
(消費税込)

■ご注意事項

- 遺言執行の対象となる財産については、原則として金融資産・不動産を対象とし、かつ、遺言の内容に従って当社が執行できる範囲に限らせていただきます。
- 当社は、相続人・受遺者の間で法的紛争が生じている等、遺言執行業務を遂行することが困難であると認められた場合、遺言執行者への就職辞退させていただくことがあります。
- 税理士、司法書士等の資格者のみ行うことができるとされている業務については、相続人・受遺者より直接それぞれの専門家へご相談・ご依頼していただけます。(別途お客様の費用負担となります。)
- 遺言の内容等によっては、本サービスをお引き受けできない場合があります。
- 上記の各種手数料・報酬等については、消費税等の税率が変更された場合、税抜金額に変更後の消費税等相当額を加えた金額とさせていただきます。

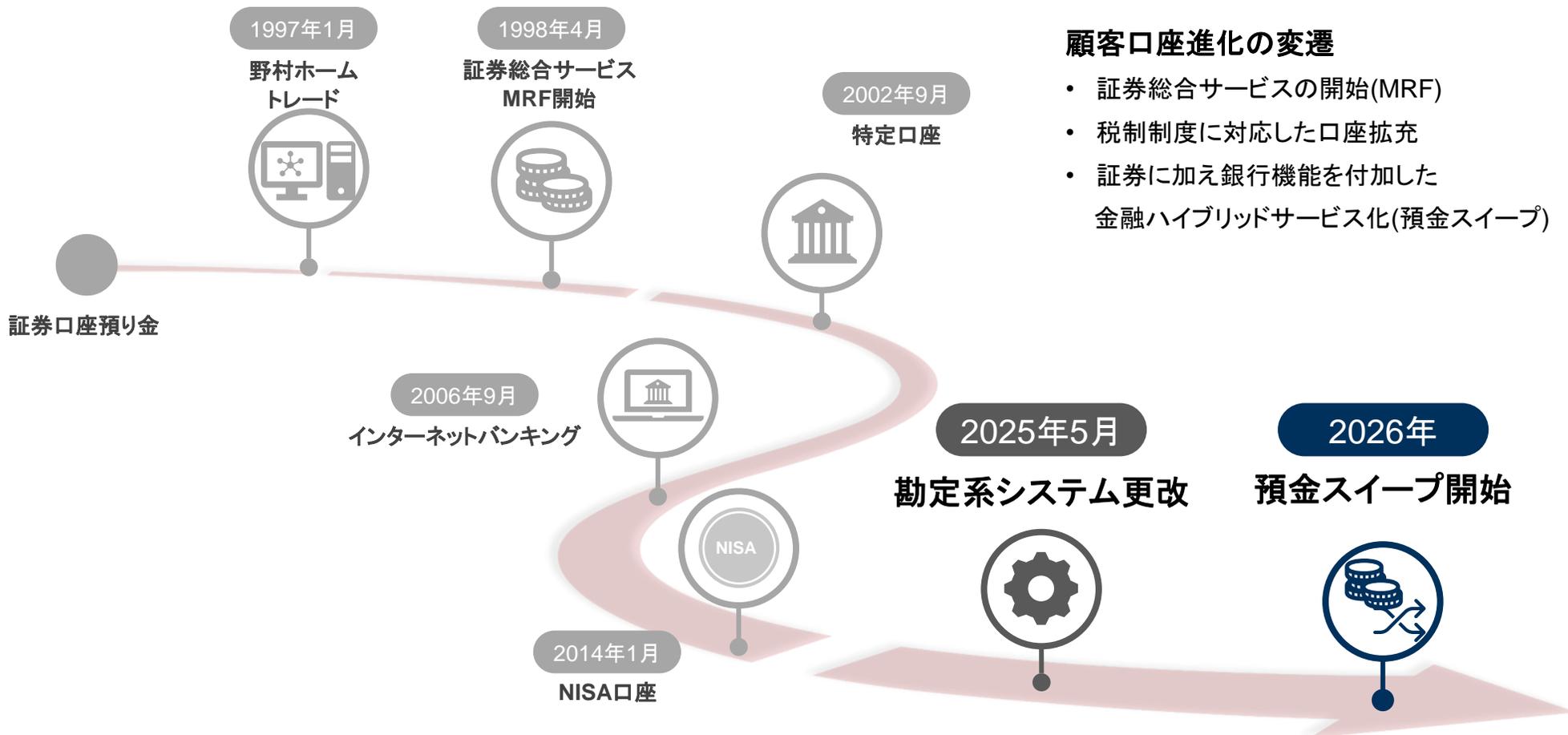
財産比例報酬	【0型】	【100型】
野村グループでお預かりしている金融資産	相続財産評価額 ×0.275%	相続財産評価額 ×0.22%
上記以外の金融資産等	相続財産評価額 ×0.55%	相続財産評価額 ×0.44%

※財産比例報酬の計算にあたっては、不動産は対象外となります。



※上記グラフは、財産がすべて金融資産で野村グループのお預かりがないと仮定した場合のシミュレーションです。
 ※上記グラフの「【100型】の報酬合計」には契約時手数料を含みます。

2030年に向けた成長戦略: ③システム 預金スイープへの取組み

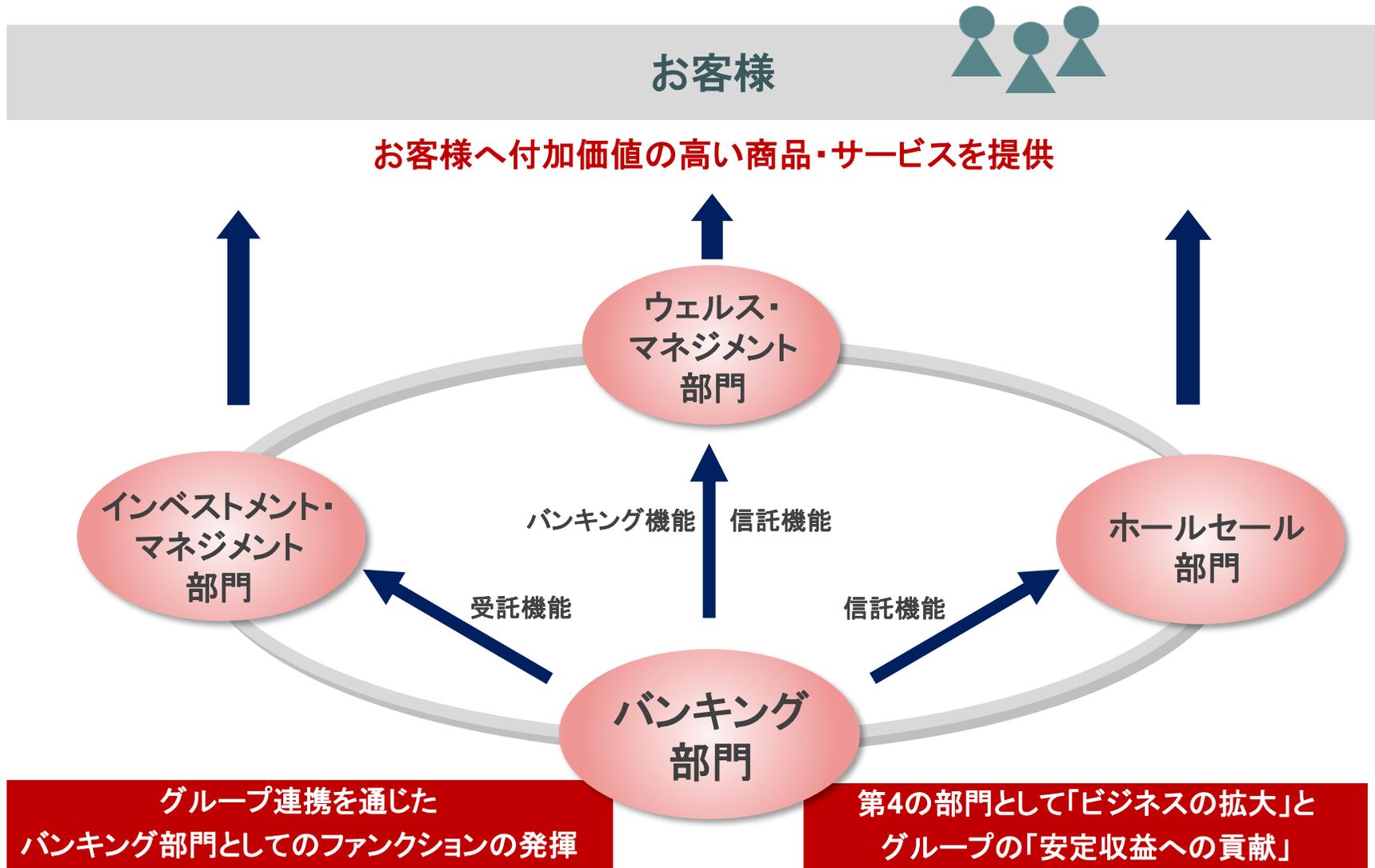


顧客口座進化の変遷

- 証券総合サービスの開始(MRF)
- 税制制度に対応した口座拡充
- 証券に加え銀行機能を付加した
金融ハイブリッドサービス化(預金スイープ)

バンキングサービスを融合した野村グループの新たな金融サービス提供へ

バンキング部門の役割



Disclaimer

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです。その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

野村証券の口座を開設済で野村信託銀行の口座を未開設のお客様へ

野村証券ではお客様のお取引情報等に基づき、銀行代理業務に関するご案内をさせていただく場合がございます。

なお、野村信託銀行口座のご開設に際しては、野村証券内および野村信託銀行との間でのお客様の情報の取扱いについて、お客様のご同意をいただく手続きをとらせていただきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

本資料のいかなる部分も一切の権利は野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報（「将来予測」）を含む場合があります。また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト（<https://www.nomura.com>）、EDINET（<https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>）または米国証券取引委員会（SEC）ウェブサイト（<https://www.sec.gov>）に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

Nomura Holdings, Inc.

www.nomura.com/jp/